ニュース
図書館から世界が見える　No. 055　　千葉県立図書館　2024 年 6 月

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

人生会議　～もしものときにどうしたいか共有する～

最近の新聞記事から

「理想の最期　人生会議の勧め　医療・介護の希望　家族と共有」

（日本経済新聞　2024 年 2 月 10 日　朝刊 7 面）

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング：ACP）とは、「もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組」のことです（厚生労働省「『人生会議』してみませんか」より）。命に関わる病気やケガは、年齢や持病の有無に関係なくすべての人に起こる可能性があります。また、命の危険が迫った状態になると、約 7 割の人が今後の治療方針やどのような最期を迎えたいかを人に伝えられなくなるといわれています（「死亡前の事前指示書と代理人による意思決定の結果」（M. J. Silveira, 2010）より）。人生会議を行い、前もって自身の意思を伝えておくことで、いつかおとずれる「もしものとき」に自身だけでなく周囲の方の負担も軽くすることができます。

本紙では、人生会議について知りたい方や、終末期医療や介護に携わる方に向けた資料を紹介します。

【人生会議について知る】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等
「人生会議」してみませんか	厚生労働省　Web 情報 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html
人生会議の愛称発表会の様子や令和元年度以降の取り組み等、人生会議に関する指針をまとめたサイト。「自治体等における普及啓発事例」では 10 自治体の事例を公開している。千葉県でも同名の web ページを公開している（https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/iryo-kaigo/jinseikaigi.html）。	
アドバンス・ケア・プランニング いのちの終わりについて話し合いを始める	厚生労働省　Web 情報 https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000173561.pdf
平成 29 年に行われた第 1 回人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会の資料。人生会議のメリット・デメリットや、人生会議を行うタイミングについても言及している。	
人生会議 日本式のアドバンス・ケア・プランニング	石井浩二著『日本臨床麻酔学会誌』（Vol. 41 No. 7　2021） p585-588 https://doi.org/10.2199/jjsca.41.585　Web 情報　雑誌
代理意思決定者を文書で表明する「アドバンス・ディレクティブ（AD）」から「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」が提唱されるまでの流れや、日本における ACP の普及について解説している。	
ホスピス緩和ケア白書　2023 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の概念と実践への取り組み	青海社　2023 西部：4945/156/23　図書
近年の注目テーマを取り扱う第 1 部、緩和ケアの統計をまとめた第 2 部の 2 部構成。2023 年版ではアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の定義や考え方、倫理・法的な背景を解説し、どのような取り組みがされているのか、またその課題について論じている。なお、第 2 部の統計の最新版は 2024 年版である。	

【人生会議をおこなう】

ゼロからはじめる人生会議

厚生労働省・神戸大学　Web 情報

https://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/index.html

人生会議の学習サイト。理解を深めるために、9 つのコラムや市民を対象とした調査結果を掲載している。「実際にやってみましょう」のページは、設問に答えることで人生会議を始めるための足がかりが得られる。

生活の場で行うアドバンス・ケア・プランニング

大城京子［ほか］編　南山堂　2020
西部：49014/79　図書

主に後期高齢者を対象としたアドバンス・ケア・プランニングの実践書。28 の事例を紹介し、意思決定支援のポイントや具体的な実践法、意思決定支援用紙の記入例を解説する。巻末には用語集も掲載。

ACP を実践する
―〈私の生き方連絡ノート〉から人生会議へ

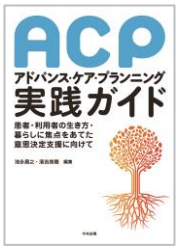
渡辺敏恵著『月報司法書士』(2021 年 6 月号　No.592)
p14-23　中央・西部　雑誌

アドバンス・ケア・プランニングの概要・効用や話し合う際の注意点や開始時期、後見人の役割等について解説している。人生会議の導入として「もしバナゲーム」や「私の生き方連絡ノート」も紹介している。

【終末期医療や介護に携わる方へ】

ACP アドバンス・ケア・プランニング 実践ガイド

池永昌之・濱吉美穂編集　中央法規出版　2020
西部：49014/81　図書



医師や看護師、ケアマネジャー等が ACP を実践する際のコミュニケーション・プロセスを場面別に紹介。伝え方や心構え等のポイントをディスカッションの流れとともに解説している。学びを深めるロールプレイ・ワークも掲載している。

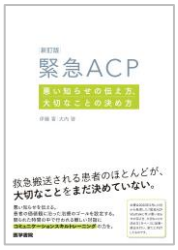
終末期ディスカッション

平岡栄治・則末泰博著　メディカル・サイエンス・インターナショナル　2021
西部：49015/207　図書

患者や家族が「これでよかった」と思える意思決定支援を行うために必要な考え方を解説している。医療倫理の基本、それを実践するためのコミュニケーション方法、ACP の実践の 3 つのパートを、全て会話形式で構成している。

緊急 ACP
悪い知らせの伝え方、大切なことの決め方　新訂版

伊藤香・大内啓著　医学書院　2022
西部：49014/100　図書



救急外来や集中治療室などのいざという場面で行われる緊急 ACP。患者も家族も混乱する中で、できるだけ患者の価値観に沿った治療のゴールをめざすためのコミュニケーションスキルトレーニング（Vital Talk）を紹介している。

本人の意思を尊重する意思決定支援

西川満則［ほか］編　南山堂　2016
西部：49014/66　図書

『生活の場で行うアドバンス・ケア・プランニング』の姉妹編。主に医療従事者に向けて幅広い年齢・場面の事例を、厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」に準拠しながら紹介する。

インターネットの最終確認日：2024 年 6 月 9 日　　作成：千葉県立西部図書館